

(研究実施に関する掲示ポスター)

当科で眼圧下降治療を受けた患者さんへ研究協力をお願い

受付番号 M2019-343

(研究課題名) 緑内障患者に対する眼圧下降治療による進行抑制の有用性 (後ろ向き研究)

(承認番号) M2019-343

(研究期間) 研究実施許可日から 2027 年 (令和 9 年) 3 月 31 日まで

(研究目的) 眼圧下降治療は緑内障視野障害に対する唯一の治療法であります。しかしながらどの程度の眼圧下降により十分な治療効果が得られるかについては未だ不明な点が多々あります。そこで今回下降に治療を行った患者様のカルテから情報を収集し解析することにより、眼圧下降と緑内障視野障害の関係を明らかにしようとするものです。

(研究内容) 2013 年 4 月 1 日より 2027 年 3 月 31 日までに当院眼科で眼圧下降治療 (点眼と手術) を施行した患者さんの治療前後の視力・屈折度・眼軸長・視野結果・三次元網膜解析結果のデータを診療録から収集し、術後の差について解析します。個人を特定出来るようなお名前・住所といった情報は一切公表いたしません。また、研究結果の発表時にも個人情報を使用いたしません。なお、より早く病態を解明し今後の診療に役立てるべく、後ろ向き調査 (既存のデータを収集) の方法といたします。データから得られた偶発的所見については適宜外来診療にて対応いたします。研究参加に費用は必要なく、また研究対象者への謝金はございません。

以上の趣旨をご理解いただき、是非この研究にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。本研究への参加をご希望されない場合は、遠慮なく下記問い合わせまでお申し出下さい。研究への参加は自由意思によるものであり、お申し出後に収集したデータは破棄いたします。その場合でも今後の診療に不利益を被ることは決してありません。研究結果をもとに、より良い診療及び治療に役立ててまいります。

本研究は研究代表者である吉田武史の科研費を用いて行いますが、実施にあたっては、利益相反マネジメント委員会及び倫理審査委員会で審議され、利益相反状態が存在することによって、研究対象者に不利益が及ぶこと、または研究の公平性に悪影響が及ぶおそれはないと判断されました。また、学会発表や論文の公表にあたっては、資金について公表し、研究の透明化を図ってまいります。また研究のために匿名化したデータや解析結果はパスワードロックのかかった眼科研究室のパソコンに保管 (保管責任者: 吉田武史、保存期間: 10 年) し、研究終了後はデータを復元不可能な状態に処理して廃棄いたします。

(研究についての内容、問い合わせ等の連絡先)

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

東京科学大学病院 先端視覚画像医学講座 准教授 吉田武史

電話 03-5803-5681 (対応可能時間帯 平日 9:00~17:00)

苦情窓口: 東京科学大学研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

電話 03-5803-4547 (対応可能時間帯 平日 9:00~17:00)